

かどうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

平成24年10月1日号 (No.87)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今号は大河津旧可動堰の撤去工事や粗朶沈床の施工状況等についてお知らせします。

旧可動堰の撤去工事 10月下旬には完了

新可動堰の完成にともない、昨年まで稼働していた旧可動堰は、一部を保存して撤去することとしています。

撤去工事は、8月下旬よりゲートの撤去を開始し、10月下旬には堰柱の取り壊しを終えて、完了する予定です。



管理橋 解体状況



ゲート撤去作業状況



解体した管理橋高欄部



撤去したゲート



撤去工事 着手前
(H24.8.20撮影)



撤去工事 実施中
(H24.9.10撮影)

旧可動堰 撤去工事 工程 (予定)

項目	8月	9月	10月
ゲート撤去		←→	
管理橋撤去		←→	
トラス鋼材撤去		←→	
堰柱撤去		←→	→

※概ねの予定であり変更となる場合があります。



毎日更新してます！

信濃川河川事務所のホームページで日々の撤去状況を確認できる定点写真を掲載しています。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

【Topics】旧可動堰の御影石を再利用



旧可動堰のゲートの下部に流水による摩耗を防止のために設置されていた御影石についても、今回、撤去しました。撤去した御影石は、高水敷を造成した後に旧可動堰付近の高水敷侵食防止用の保護工として再利用することとしています。



旧可動堰ゲート

2012/08/11 10:35
摩耗防止の御影石



御影石の撤去・仮置き状況



仮置きした御影石

伝統工法を採用

粗朶沈床（そだちんしょう）施工中



イメージ図：北陸粗朶業振興組合ホームページより

右岸鋼矢板護岸部で川底の侵食を防止するため、伝統工法である「粗朶沈床（そだちんしょう）」を施工しています。
粗朶沈床は、粗朶を一定の太さに束ねた連柴（れんさい）を格子状に組み、大きなマット状にした後、沈石を投入して川底に沈めます。
粗朶に用いられる枝は、軽くて丈夫な上に、しなやかに曲げることが出来ることが特徴です。これにより、川底に敷かれた粗朶沈床は、多少の変化にも対応することが出来るので、長期間、川底の侵食を防御することが出来ます。
この粗朶沈床は、新可動堰の護床工でも採用しています。



① 材料



② 製作状況



③ 製作完了



④ クレーンによる吊り落とし



⑤ 沈石の投入



⑥ 設置完了

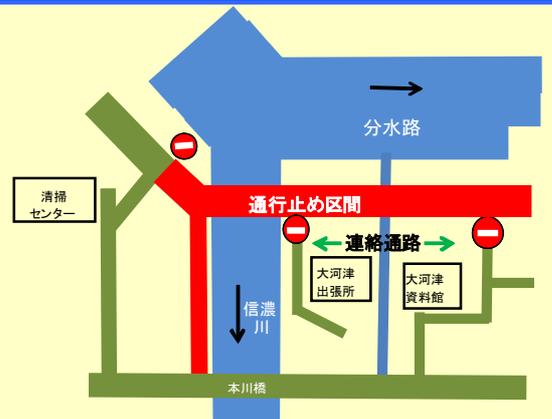
【お知らせ】土砂運搬に伴う通行規制について

右岸高水敷の造成に伴う土砂運搬の実施により、大河津資料館～大河津出張所～洗堰管理橋付近の堤防管理用道路を関係車両以外「**全面通行止**」とさせていただきます。地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

◆ 期間：H24年9月10日から平成25年2月下旬まで

※ 工事を実施する日の8:00～18:00は、歩行者・自転車も通行止めとさせていただきます。

※ 資料館から洗堰の魚道観察室へは旧洗堰管理橋を通行下さい。



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。
『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官（可動堰改築担当）: 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>